



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	日本中央アジア学会 2018 年度大会プログラム
Citation	日本中央アジア学会報, 15, 87-89
Issue Date	2019-07-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/88377
Type	other
File Information	JB015_005program.pdf



日本中央アジア学会 2018 年度大会プログラム

■概要

日程：2019年3月23日(土)～3月24日(日)

会場：KKR 江ノ島ニュー向洋

■プログラム

● 3月23日(土)

13:00 受付

13:30～17:30 個人発表①

司会：井上岳彦(大阪教育大学)

大倉忠人(キャノン株式会社)

「クルグズにおける非畜産業従事者の家畜資産保有の経済的利点

——ナルン州アクタラ地区並びにナルン市におけるプレ調査報告」

討論者：樋渡雅人(北海道大学)

塩野崎信也(龍谷大学)

「ロシア帝政期南東コーカサスの村落における家族の姿」

討論者：磯貝真澄(京都外国語大学)

ウメトバエワ・カリマン(東京藝術大学)

「アクン芸の音楽構造の分析

——新資料から見直すクルグズとカザフスタンの語り物(Oral Narrative)」

討論者：坂井弘紀(和光大学)

ベクトゥルスノフ・ミラン(北海道大学)

「革命期及びソ連初期におけるカザフ人とクルグズ人エリートの関係について」

討論者：秋山徹(早稲田大学)

17:30～18:30 日本中央アジア学会総会

● 3月24日(日)

9:00～12:20 個人発表②

司会：塩谷哲史(筑波大学)

秋山徹(早稲田大学)

「ソ連中央アジア創成期におけるクルグズ人旧首領一族の動向
——民間所蔵史料と公文書館史料による復元の試み」

討論者：植田暁(日本学術振興会特別研究員PD、北海道大学)

村上智見(北海道大学)

「サマルカンド市所在グリ・アミール廟出土の織物について」

討論者：堀川徹(京都外国語大学)

ディシュコフ・アルマス(筑波大学)

「『中央アジア+日本』対話——着想から実行へ」

討論者：櫻間瑛(一般財団法人所属)

14:00～16:00 公開パネルセッション

「中央ユーラシア近現代史研究の潮流と展望」

司会：島田志津夫(東京外国語大学)

小松久男(東京外国語大学)

「一つの文書から何を読み取るか——近現代史の史料について」

宇山智彦(北海道大学)

「中央ユーラシア史研究がロシア史・比較帝国論に対して持つ意義」

新免康(中央大学)

「内陸アジア史研究と中央ユーラシア史——近現代新疆研究の動向を中心に」

16:05～18:00 公開講演

司会：水谷尚子(明治大学)

方麗娟(馬偕醫護管理專科學校、台湾)

「回回醫學在中國元代醫書中之特色(中国元代医書に見る「回回医学」の特徴)」

通訳：熊倉潤(アジア経済研究所)

周耿生(馬偕醫護管理專科學校、台湾)

「塔吉克斯坦政治變遷——世俗與宗教間的觀察

(タジキスタン政治の変遷——世俗・宗教関係の考察)」

通訳：熊倉潤(アジア経済研究所)

* 発表者の所属はいずれも発表時のものです。